

令和5年3月24日 身延小学校 学校だより 最終号

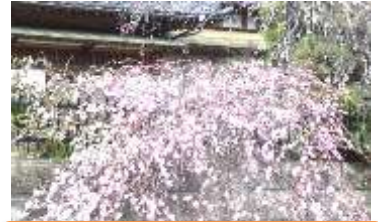


チー ム 身 延

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校を・・・」

身延町立身延小学校
Tel 0556-62-0066
Fax 0556-62-0368

3月21日は、昼と夜が同じ長さになる春分の日でした。二十四節気の大きな節目の一つですね。「暑さ寒さも彼岸まで」過ごしやすい季節がやってきました。いよいよ軽快に動き出せますね。春分の日を中日に、7日間が春のお彼岸です。先祖の霊を供養する仏事が行われる日でもあります。そして、出会いと別れの季節でも。今までのご縁に感謝しながら、これからの素敵なご縁に出会えるといいですね。運は、「はこぶ」と書きます。行動を起こして（積極的に足を運んで）良縁や良運を引き寄せたいですね。



卒業を祝う身延町某家の花桃の花

ありがとう6年生！おめでとう6年生！

3月22日（水）、6年生18名が、通い慣れた学び舎をあとにしました。統合5年目で、卒業生は134名になりました。今年度も制約やストレスを強いられる場面が多々あり、その渦中に



あった子どもたちでしたが、どんなときも笑顔を忘れず1年間乗り越えてきました。本当によく頑張りました。在校生のお手本として身延小学校をリードしてきました。「情けは人のためならず巡りめぐって己（おの）がため」自己有用感が自己肯定

感に変わってきたことも実感できたのではないのでしょうか。

はなむけの言葉：**一部抜粋** 卒業は、新たなスタートでもあります。人に流されることなく、しなやかに、自分を信じて、たくさんの事に挑戦してください。・・・私は、「やればできる。」という言葉信じて、何事にも積極的に挑戦してきました。ただ、がんばっても失敗が多く、やってもできないことばかりでした。でも、ずっと挑戦し続けてきたら、たとえ失敗はしても、必ず自分が「成長」できたと感じられるようになったのです。「やればできる」の本当の意味は、「やれば成長できる。」ということなんだと思うようになりました。成功することだけが重要なのではなく、まずは、挑戦してみる大切さが分かってきたのです。夢が実現しなくても、努力した後には、必ず成長した自分が待っています。「前向きな心と素敵な笑顔」を大切にしながら、歩みを進めてください。中学校での活躍を期待しています。卒業おめでとうございます。・・・



卒業生を見送る様子！

～全員が笑顔満開 卒業式～

もう一度、子どもたちとの関わりを考えましょう！

以下に掲載した作文は、以前新聞で取り上げられ、我々大人が考えさせられる内容の作文です。今年の2月に行った「身延小新入生保護者説明会」時にも、お話をさせていただきました。

小学1年生の女児が日常のことについて書いた詩に、多くの教師や保護者が考えさせられました。

きょうはあさはやくからべんきょうをした。みんなやった。
これはきっとほめられるとおもった。どんなにほめられるのかなあとおもった。
ほめられたらいいのになあとおもった。
にこにこして、おかあさんに見せたらおかあさんは、ほめてくれなかった。
「土よう日のぶんもしなさい。」とはんたいにおこった。わたしはなきました。



授業参観の様子！

小学生の女の子の想いを考えると、胸が締め付けられる思いです。そしてこのような出来事は、多かれ少なかれどの家庭でも起きている事だと感じます。

子どもがまだ小さい頃は「あれができた!」「これができた!」と一喜一憂しますが、ある程度大きくなるとやって当たり前という認識になりがちです。

子どもの成長を願うばかりに、どうしてもできないところに目がいってしまい、褒めることを忘れてしまっていることがあります。子どもにとって「親に褒められる」というのはとても重要な事であり、そして活力にもなります。「できないことを叱るより、できるようになったことを褒める。」その積み重ねだと思えます。

言葉は時代を超え、今なお生き続ける先人からの教え！

6年教室の後方にある黒板に、歴史の授業の一環として山本五十六元帥の顔写真が掲示してありました。山本元帥は、大日本帝国海軍第26、27代連合艦隊司令長官でした。明朗な性格で、部下や同僚から非常に高い信頼を寄せられた人物だったそうです。当時の欧米事情にも詳しく、日独伊三国軍事同盟や日米開戦に最後まで反対していたと言われています。

そんな山本元帥は、数多くの言葉を残しています。その中のひとつに、今の教育理念・教育信条にもつながる格言があります。多くの指導者や経営者が座右の銘としています（私もその一人ですが・・・）。言葉は時代を超え、情に厚い人柄を今に残しています。我々大人が、子どもたちに向かうときの姿勢だとも思っています。



「やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ」
「話し合い 耳を傾け承認し 任せてやらねば 人は育たず」
「やっている 姿を感謝で見守って 信頼せねば人は突らず」

子どもは、大人（教師や保護者）の言うことより、することを真似ます。

「率先垂範」は、我々大人が大切にすべきキーワードだと思います。

中庭に咲くパンジーやピオウが大変美しく咲いています。雨の日も雪の日も、寒さに耐えてきました。寒い日が続けば続くほど、それを乗り越えた花は、一段ときれいに咲くそうです。今年も1年間、コロナ禍で我慢しなければならない年になってしまいましたが、校舎周りの桜の花も、胸を張って進学・進級する子どもたちを温かく見守ってくれています。卒業式、修了式も無事終わることができました。保護者の皆様のご理解とご協力、地域の皆様の見守り、ご指導、ご支援によりまして身延小の教育を推進することができました。子どもたちは大きく成長し、次の学年の準備を進めることになります。心より御礼申し上げます。また、今年度も学校だより「チーム身延」を地域に回覧させていただくことにつきまして、企画政策課の方々、各区長様、組長様には、大変お世話になりました。おかげさまで、地域の皆様に、身延小学校の様子を知っていただく機会になりました。関係の皆様にも厚く御礼申し上げます。末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お礼のあいさつとさせていただきます。

令和5年3月吉日 身延小学校 校長 片田 幸樹

